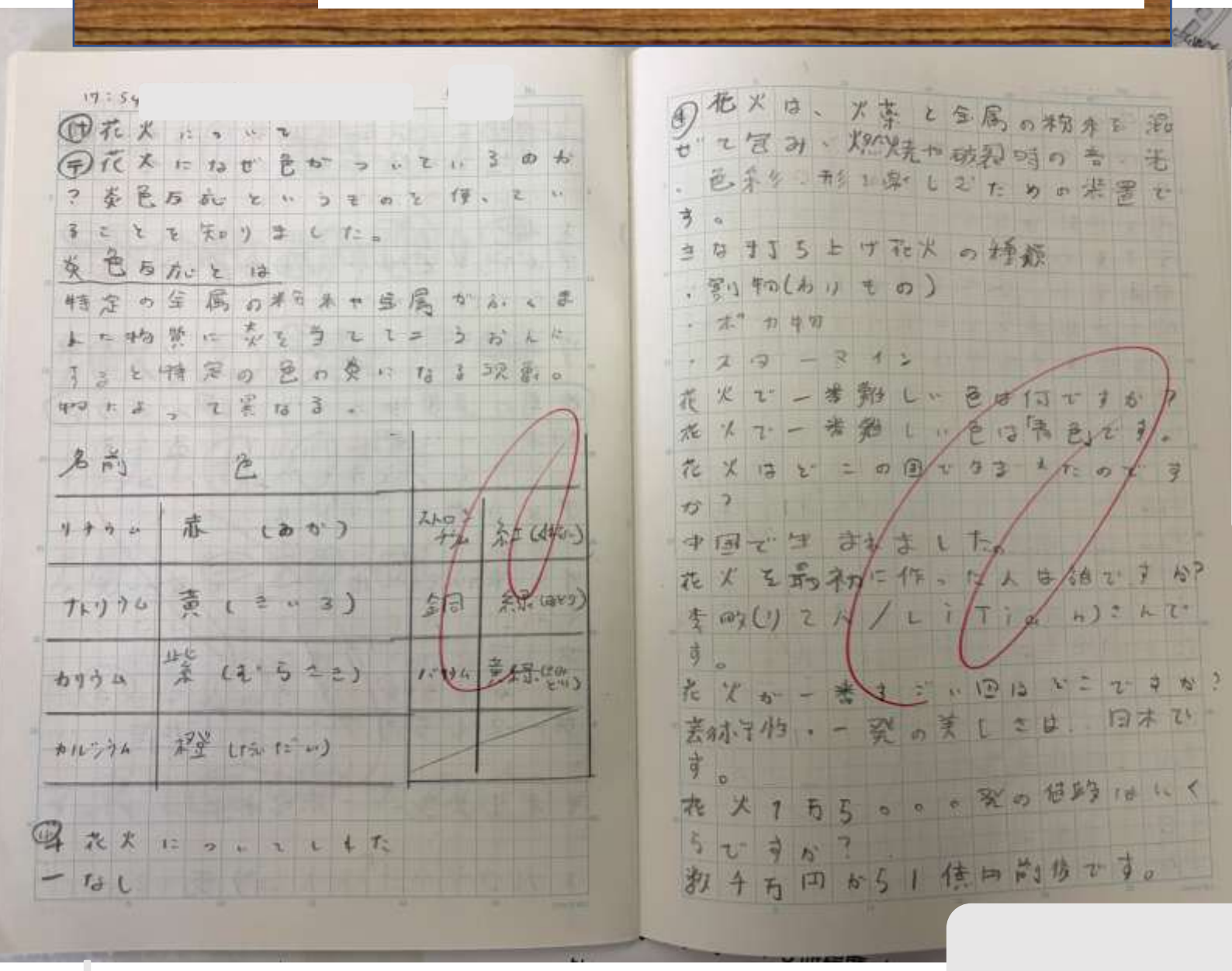
探究する扇小　～自主学習ノート～

六年生の探究です。花火についてまとめています。どこかの花火大会を観に行ったのでしょう。生活から生まれた「？」、勉強になります。



17:54

(1)花火について

(2)花火になぜ色がついているのか？炎色反応というものを使、ということを知りました。

炎色反応とは

特定の金属の単体や金属がふくまれた物質に炎を当てて、ふうおんだりすると特定の色の炎になる現象。物によって異なる。

名前	色		
リチウム	赤（しゅあか）	ストロンチウム	紅（くれない）
ナトリウム	黄（きいろ）	金属	緑（みどり）
カリウム	紫（むらさき）	バリウム	黄緑（きみどり）
カルシウム	橙（だいだい）		

(3)花火についてしらべたこと

・なし

(4)花火は、火薬と金属の粉末を混ぜて包み、燃焼や破裂時の音・光・色彩・形を楽しむための装置です。

・ヨなすう上げ花火の種類

・割物（わりもの）

・ポカ物

・スターマイン

花火で一番難しい色は何ですか？

花火で一番難しい色は「青色」です。

花火はどこの国でうまれたのですか？

中国でうまれました。

花火を最初に作った人は誰ですか？

李時珍（リ シ／Li Shi-zhen）さんです。

花火が一番すごい国はどこですか？

素材や技・一発の美しさは、日本です。

花火1万5。。。発の値段はいくらですか？

数千万円から1億円前後です。